



模様

## 溶接で4人目の「名人」

佐賀マイスターに  
認定された溶接工

井上 直哉さん 35

熟練した技能を持つ人に対し、県が認定する「佐賀マイスター」に選ばれた。今月16日、県庁で授与式が行われ、これまで54業種で延べ73人が認定、溶接の職種では4人目となる「名人」のお墨付きが与えられた。

鹿島市出身。勤務先の森鉄工(鹿島市)で製缶板金課に所属し、プレス機械の本体や付属部品の溶接

全国溶接技術競技会で入賞するのが夢。趣味はイカ釣り。長崎県平戸市や唐津市呼子町の堤防でリラックスして過ごすのが休日の楽しみ。

作業が主な仕事。入社18年目で、溶接の一種である被覆アークや、TIG溶接など様々な資格を取得したほか、母校の塩田工業高校で生徒との合同練習や、教諭への指導にもあたる点が評価された。

「自分の想像した通りに溶接ができた時、満足感でいっぱいにな

る」と魅力を語る。ただ駆け出しの頃は、溶接箇所には空気が入った欠陥商品を出し、取引先に迷惑をかけたという苦い経験もした。今では「冷静な判断ができ、仕上がりが美しい」と、社内の評判も上々だ。

溶接の仕事は近年、「きつい、汚い、危険」の3K職場として、若者に不人気だという。「モノづくりの楽しさを伝え、後継者の育成にも頑張っていきたい」と、佐賀マイスターとしての自覚が芽生えている。

(鶴結城)